

報道関係各位

プレスリリース  
2026年04月14日  
株式会社 Mitate Zepto Technica

## **JST「次世代エッジ AI 半導体研究開発事業」に、**

### **MZT が社会実装に向けた研究開発機関として参画**

～ ゲノム解析専用アクセラレータ「RASEN」を通じて社会実装を担う ～

株式会社 Mitate Zepto Technica (MZT、本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 原島 圭介) は、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) が推進する「次世代エッジ AI 半導体研究開発事業」において、研究課題「AI for Science のためのエッジの知能化加速」(研究開発代表者：理化学研究所 泰地 真弘人氏) の社会実装に向けた研究開発機関として参画することをお知らせいたします。

本研究課題では、AI 技術と次世代エッジ半導体の融合による高度な計算基盤の実現を目指しており、ゲノム解析はその応用分野のひとつです。MZT は当社独自のゲノム解析専用アクセラレータ「RASEN」を通じて、その研究成果の製品化・社会実装を担う機関として参画しております。

#### **■ 本参画の背景**

MZT は 2020 年の創業以来、ゲノム解析の専用 ASIC 化という独自のアプローチを追求してまいりました。東北大学との共同研究を含む技術検証を経て、今回、本課題の社会実装に向けた研究開発機関として参画しております。

#### **■ 本事業における MZT の役割**

MZT は本課題において、理化学研究所・東北大学が推進する AI 研究の成果を、RASEN アーキテクチャに統合し、ASIC 化・製品化という社会実装に向けた研究開発を担います。研究から実用へのブリッジを担う産業パートナーとして、2029 年の社会実装を目指してまいります。

#### **■ 課題概要**

- ・研究開発課題名：AI for Science のためのエッジの知能化加速
- ・推進機関：国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)
- ・研究開発代表者：泰地 真弘人 (理化学研究所 TRIP 事業本部 プログラムディレクター)
- ・参画機関：理化学研究所、東北大学、慶應義塾大学、株式会社 Mitate Zepto Technica
- ・MZT の参画開始：2026 年 4 月 (2026 年度)
- ・JST 事業期間：2025 年度～

#### ■ 代表取締役社長 原島 圭介のコメント

「ゲノム解析の専用半導体による高速化という、当社が創業時から取り組んできたテーマで本課題の社会実装を担えることを、大変光栄に思っております。RASEN は今まさに、研究から社会実装への移行フェーズにあります。本課題への参画を機に、医療・創薬・研究インフラ分野における実用化を加速してまいります」

#### **【株式会社 Mitate Zepto Technica について】**

Mitate Zepto Technica は、最先端半導体技術の活用によってゲノム解析の革新的高速化を実現し、医療・食料・エネルギー問題など人類の共通課題の解決に資する製品を創造するベンチャー企業です。

詳しくは当社ホームページを参照ください。<https://mitatezeptotechnica.com/company>

#### **このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へ：**

株式会社 Mitate Zepto Technica (MZT)

担当：橋本

e-mail: [pr\\_info@mitatezeptotechnica.com](mailto:pr_info@mitatezeptotechnica.com)